



ベトナム人とドリアン

北陸銀行 国際部
ホーチミン駐在員事務所
グエン・ゴク・ビン・アン

1. はじめに

温暖な気候のベトナムでは様々な南国の果物が栽培されており、それぞれの旬に新鮮でおいしい果物を味わうことができます。中でも、ドリアンは古くからベトナムの文化や食生活に深く根付き国民に愛されている、まさに「果物の王様」です。

今回はベトナム人が好んで食べるドリアンについてご紹介します。

2. ベトナム人に不可欠なドリアン

(1) 「果物の王様」ドリアン

硬い殻に棘がある見た目と独特な匂いから敬遠する観光客も多いドリアンですが、非常に栄養豊富な果物で、マグネシウムやリン、銅など体の機能を維持するために欠かせないミネラルを多く含み、貧血予防の葉酸、血行を良くするナイアシン、疲労回復のビタミンB1、高血圧予防のカリウムなどの含有量も果物中でトップクラスです。

南部メコンデルタ地域では栽培が盛んに行われ、5月から8月のドリアンの収穫期になると特有の香りが辺り一帯を包んでいます。



【ベトナム南部の特産品ドリアンの果実】
(事務所撮影)

(2) 生活に欠かせない存在

ドリアンは、ベトナムの伝統行事や慣習には欠かせない果物です。古くから、家族や友人など多くの人が集まる先祖供養や結婚式、テト（旧正月）など、重要な行事が開催される際にはお供え物としてドリアンが必ず登場します。

また、ドリアン料理のバリエーションは非常に豊富で、チャーハン、ケーキ、アイスクリーム、チェー（ベトナム風ぜんざい）、ピザなど様々なメニューに使われています。



【色鮮やかなドリアンクレープ】

(3) ドリアンとベトナム経済

ドリアンは、ベトナム経済にとって大変重要な役割を果たしています。青果の総輸出額のほぼ半分を占め、2023年の輸出量は約60万トン(21億USD)と前年比約7倍に増加しました。2024年の輸出量は過去最高となる見通しです。2022年9月に中国向けの輸出が許可されて以降、輸出の9割が中国向けとなっています。

輸出量が増加するとともに、様々な課題が出てきています。

これまで栽培していたコーヒーや胡椒、マンゴー等他の作物から、高値で売れるドリアンに転作する農家が急増しました。出荷量を増やすために急速に作付面積を広げているので、ドリアンに適した土壌で栽培できず品質や収穫量が低下する恐れが出てきています。

また、最大輸出相手の中国は近年、他国からの輸入製品に厳しい規制を設けています。政府は今後も輸出量を維持していくため品質管理に努めるよう生産者へ助言するとともに、中国へ過度に依存することのないよう警告しています。

3. おわりに

2024年8月、ベトナム農業農村開発省と中国税関総局の間で、冷凍ドリアンの中国への輸出を許可する議定書に署名が交わされました。ドリアンを冷凍することで鮮度が保たれ、保存期間が伸び、特有の匂いをほとんど気にせず運ぶことが可能になるため、ますます需要が伸び、輸出量の増加が期待されています。

百聞は一見に如かず。体験したことがある人もない人も、ベトナムを訪れる際には是非、現地のフレッシュなドリアンを味わってみてください。意外にもお口に合うかもしれません。食体験を通してベトナム文化を知るきっかけになれば良いと思います。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。
記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
(株)人材情報センター内
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp